




インドネシア
ガジャマダ大学 メラピ山噴火再定住地
訪問
2015/2/15~22
千葉大学大学院 DNGL
浜田沙織 波多野祐子
2015年4月9日

日程

- 2/15 移動、インドネシア着
- 2/16 ガジャマダ大学医学部看護学科 ご挨拶
講義「Mental Health Disaster in Indonesia」
- 2/17 講義「Disaster Response in Acute Phase」
「Leadership and interprofessional collaboration within the response team」
Disaster Working Groupの紹介
- 2/18 岩崎先生、ウキさん講義、学生ミニセミナー
ジョグジャカルタ見学（おにぎり工場見学）
- 2/19 メラピ山噴火博物館見学、再定住地での健康教育参加
- 2/20 再定住地訪問、噴火被災地ツアー参加、
再定住地（2か所目）訪問
- 2/21,22 移動、帰国



講義

DISASTER RESPONSE IN ACUTE PHASE


- 災害救援経験の豊富なSutono先生
- 2004年 スマトラ島沖地震と津波
→政府の体制：2007年National Board of Management Disaster設立
- 2006年 ジョグジャカルタ地震
- 2010年 メラピ山噴火




講義

LEADERSHIP AND INTERPROFESSIONAL COLLABORATION WITHIN THE RESPONSE TEAM



- 2004年、2006年、2010年と大きな災害が続き、UGM看護学部では、災害看護教育を導入（セメスター8、6週間プログラム）
- 災害時にはガジャマダ大学として組織的に動くことになった。



DISASTER WORKING GROUP

UNDER FACULTY OF MEDICINE

- メンバーはFacultyと、2つの関連病院から。20人以上。
- 2004年アチェ、2006年ジョグジャカルタ地震へチーム派遣
- 月1回と毎年3月にミーティング
- 災害サイクルのすべての時期に関与
- Local Boardに登録
- インドネシアで初めて医学部生へ disaster medicine managementの カリキュラムを導入

学生ミニセミナー

- 千葉大学学生：自身の災害看護経験とDNGLプログラムの紹介
- ガジャマダ大学学生：災害看護の研究発表、災害看護経験の発表




2010年 メラピ山噴火

- 2010年10月26日に噴火。
- その後11月まで大小の噴火が継続。
- 火砕流や土砂流による死者は約400人。
- 生産土砂量は約1億4千万 m^3 。



DAY5 再定住地での健康教育参加



DAY6 噴火被災地ツアー参加



DAY6 再定住地(2か所目)訪問



SOLASTALGIA

- G. Albrechtにより作られた概念と言葉
- 'solace' (=慰め)
…*solari* / *solacium* (苦痛の緩和や、困難な状況の中での慰めを意味するもの)
- 'desolation' (=孤独、わびしさ)
…*solus* / *desolare* (置き去り、放棄や孤独を意味する)
- *algia* (痛み、苦しみ、病気)



SOLASTALGIA

- Solastalgia is the pain or sickness caused by the loss or lack of solace and the sense of isolation connected to the present state of one's home and territory.
(Albrecht, 2005)
- 自分の家やふるさと、愛着のある土地に居ながらにしてホームシックであるさま。
- Nostalgia
- *nostos* (家やふるさとに戻ること)
- *algia* (痛み、苦しみ、病気)
- ふるさとから離れていることで生じる憂うつ

